

## 株式会社 フジドリームエアラインズ 12号機以降の機材導入計画を決定

2017年6月21日

株式会社フジドリームエアラインズ(略称:FDA、本社:静岡県静岡市、代表取締役社長:三輪 徳泰)は、12号機以降の運航機材として、エンブラエル ERJ175を3機導入する契約をブラジル・エンブラエル社と締結しました。

FDAは現在、運航機材としてエンブラエル社製の最新鋭リージョナルジェット機 ERJ 170 (3機)、ERJ 175 (8機)を計11機保有していますが、新たに契約した12号機を2018年3月に、13号機を2019年3月に、14号機を2020年3月にそれぞれ導入する予定です。

FDAのフリートは独自の“マルチカラー・コンセプト”に基づき、1号機がレッド、2号機がライトブルー、3号機ピンク、4号機グリーン、5号機オレンジ、6号機パープル、7号機イエロー、8号機ティーングリーン、9号機ゴールド、10号機シルバー、11号機グリーンと、各機異なるボディカラーを採用しています。

新たに導入する機体のカラーや配備路線につきましては今後検討を進め、決定次第発表いたします。



### 【FDA 機体導入計画概要】

1. 型式 : エンブラエル ERJ 175 (ERJ 170-200)
2. 客席数 : 84席
3. 導入時期 : 12号機 2018年3月、13号機 2019年3月、14号機 2020年3月
4. 投入路線 : 検討中
5. 備考 : 上記確定3機に加え、さらに3機を Purchase rights として契約※

※Purchase rights(パーチェスライツ)とは FDA が必要と判断した場合に機体を購入できる権利のことで、購入時期が特定されるオプションとは異なる契約形態です。

以上